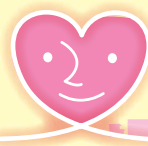


パートナーシップシティ

市民とのパートナーシップによるまちづくりを進める「鹿児島市」。
福祉や教育などさまざまな分野にわたる地域課題の解決に向け、行政と協働して取り組む市民活動団体やNPO法人などを紹介します。

Vol.17

かごしま子ども文化の里



きっかけは廃園の保育園

以前から、子ども達に自然体験と、芸術文化に触れあう機会を提供する「子ども劇場」で活動していました。その中で、廃園で使わなくなった郡山町の常盤保育園の建物を取り壊す話を耳にし、もったいないと思い、そこを借りて、1999年4月に「かごしま子ども文化の里」を設立して活動を始めました。

子どもには自然の中で遊び、いろんなことを感じてもらいたい

今の子ども遊びはバーチャルな世界で遊ぶゲームなどが中心です。川遊びや虫取りなど自然の中で遊んだり、ガキ大将との関わりなど、幼いころから家族以外の人と人間関係



係を築いたりする経験があまりありません。

私たちは建物の裏にある里山を活用した自然・農業・芸術体験を通じて子どもの心を育む活動を行ったり、活動を支援する人材を養成したりしています。

「アートキャンプ」は子ども達の成長・変化を一番感じられる活動です。子どもと音楽家や劇団の演出家などが2泊3日一緒に過ごします。自然の中で体感したことを歌やからだで表現し、最終日に家族などに発表します。里山に登ってお気に入り木を見つけて、その木の話を聞いて歌を作ったときには、木から離れない子もいました。木の音や生を感じ、子ども達の五感が解放されると、私達大人の想像を超える素晴らしい歌や表現が出来ます。子ども達の物事を素直に吸収し、感じた気持ち

ちを表現する力と成長にはいつも驚かされます。

「里山の宝物から私の宝物を作る」というイベントでは里山の木の枝や実、葉っぱを拾ってきて、自分で考え、自由に宝物を創作します。自由な発想は芸術性を育むことに繋がり、工夫次第で市販のおもちゃより楽しく遊ぶことが出来ます。バーチャルな世界よりもっと、面白い世界があると感じてもらえると嬉しく思います。

里山で大きな声ではしゃいだり、校庭を思い切り走りまわったり、自由に楽しく遊ぶ子ども達の表情を見るだけでも、活動の励みになります。

さまざまな人の協力を借りながら

活動には地域の人などさまざまな人の協力が不可欠です。

一年を通じて行う農業体験では、畑を提供してくれる人や、畑にイノ



シシが来ないように囲いを取り付ける人がいて助かります。自然体験では竹など必要な物を分けてくれる人や、里山の手入れや川歩きを一緒に手伝ってくれる人も。普段の結び付きのおかげで、地域の鬼火焚きにも参加させてもらえるなど、地域住民の皆さんの協力を感謝しています。

また、長年活動が続けてきているので、以前、自然体験などに参加した子どもが青年となって、その時の経験を活かして、子ども達と一緒に遊んでくれることも嬉しいです。子ども達も年が近いお兄さんやお姉さんは親しみやすいのか、コミュニケーション能力の向上につながっていると感じています。

さまざまな人の協力を借りながら、子どもの自由な発想を引き出す体験活動を通じて、今後は子どもの感性や創造性、芸術性を育んでいく場としての「芸術学校」に発展させていきたいと思っています。



「里山の宝物から私の宝物を作ろう」では里山で拾った枝を使い、懸命に世界で一つの宝物を作ります



以前参加していたお姉さんも手伝ってくれます



取材メモ

子どもだけでなく、大人もバーチャルな世界やつながりに多くの時間を割いています。

取材中、10年以上ぶりにバツタを捕まえました。触感など懐かしく、本物の自然に触れる体験の大切さを実感しました。

柿木さんの優しい笑顔に見守られながら、真剣に宝物を作る子ども達の顔は本当に生き活きていました。

問い合わせ ☎ 2456171



代表 柿木 淑江さん
かきぎ よしえ

話をしてくれた人



「アートキャンプ」では歌による表現力が向上しました